

1 研究主題

望ましい人間関係を形成し、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる特別活動の工夫

2 研究の概要

上記の主題に基づき、児童生徒の活動分野を取り上げ、望ましい人間関係を築き、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるための教師の指導や支援の在り方について、実践をとおして明らかにしていく。研究を進めるにあたっては、①会員が個人または共同で実践研究を進める。②研修会を開催し、研究協議をとおして研修を深める取組を行う。本年度は、年間2回の研修会を下記のように計画し開催した。

(1) 第1回研修会 期日： 7月14日(木) 会場： 栖吉中学校武道場
内容： 講演会 講師：臨床心理士 坂井 祐円 様

(2) 第2回研修会 期日： 9月23日(金) 会場：長岡市立希望が丘小学校
内容： 学級活動授業研究会(4年生)
授業者：長岡市立希望が丘小学校 神林 一平 教諭

「4の2ねばリンピック～みんなで目指そう金メダル～」

3 研究の実際

(1) 第1回研修会

講演会は、『望ましい人間関係を形成するためのヒント～ケア論の知見から～』という演題であり、主に「ケアリング」、「臨生体験」、「コンステレーション」、「本当にケアするのは誰なのか」という内容であった。その中でも、ケアリングの“人と人との出会いは奇跡”、“傍らにて、共に生きることが最高のケア(支援)”ということ、臨生体験の「臨生」とは、「死者の眼をもってこの世のこの生を見つめ直す」、「他界からのまなざし」など、心のもち方の大切さを深く考えることができた。

ごくありふれた日常的な風景が、ある種のまなざしによって濾過された時、とてつもなく「ただごとではないこと」として実感されてくることなど、児童生徒と接する際に大切な姿勢を学ぶことができた。

(2) 第2回研修会

第2回の研修会は、長岡市立希望が丘小学校の4年生の授業公開と協議会を実施した。マラソン大会に向けた練習においてみんなで決めた目標を達成するために、これからのチームごとの練習方法について話し合う学級会が公開された。走ることが苦手な子どもや朝練習に参加しづらい子どもが、自分の思いを語り、チームの仲間たちが、その思いを受け入れて、自分にできることを語り合った話し合い活動であった。

参加者からは、相手の意見を肯定的に聴くことの経験の積み重ねによって、人の意見を尊重する風土が育ちつつあること。また、話し合いを中断して、相手の理由の良さを考えさせたことなどよい試みが協議の中で確認された。教師の出場については、授業者からも参加者からも課題が語られた。中学校会員の参加もあり、大変有意義な協議会となった。



4 成果と課題

2回の研修会を通して研究主題に関わる研修を深めることができた。本年度も、子どもの学習する姿を通して協議を深めることができ、大変有意義な研修となった。

今後も「子どもの活動を通して学ぶ」研修を大切にしていきたい。